

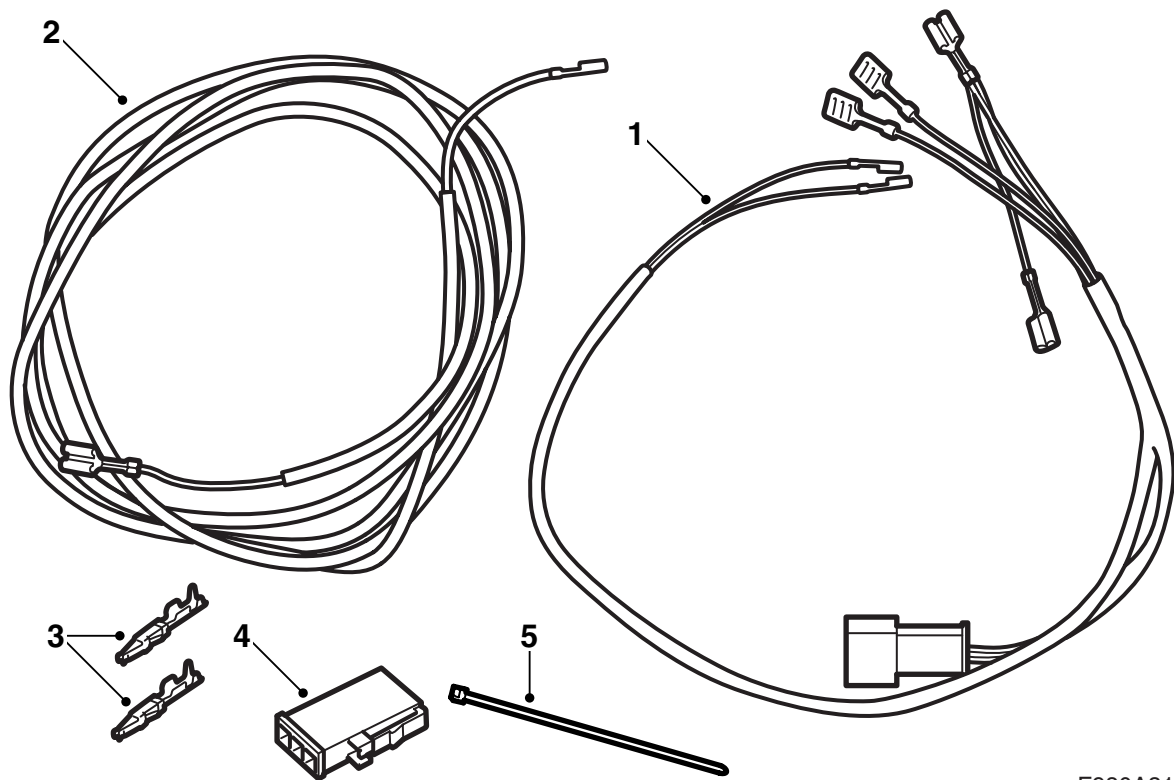


MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE

Saab 9-3 M03-

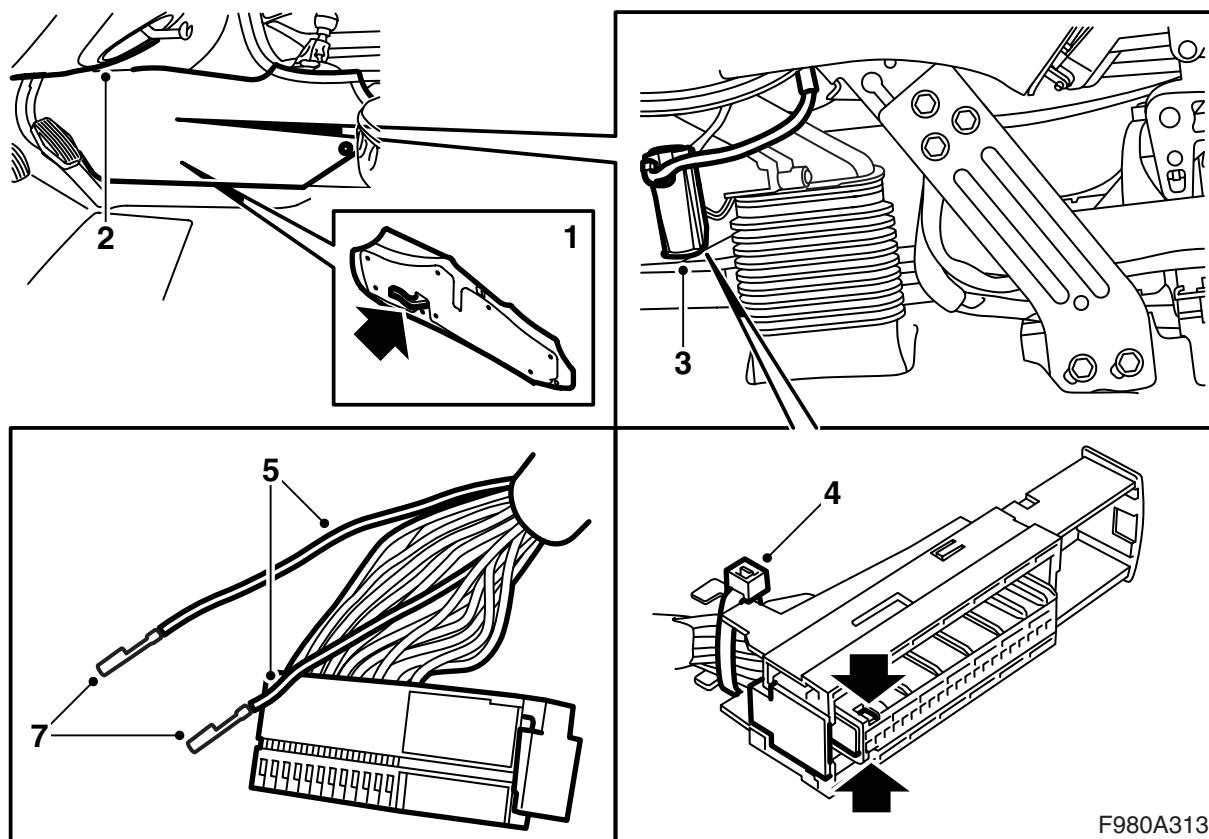
エンジンヒーター操作リレー用ワイヤーハーネス (MCC 装備車)

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 805 414	9:87-45	Oct 03	12 805 535	



F980A312

- 1 ワイヤーハーネス
- 2 ケーブル
- 3 ケーブルターミナル (x2)
- 4 3極コネクタ
- 5 ケーブルタイ (x10)



F980A313

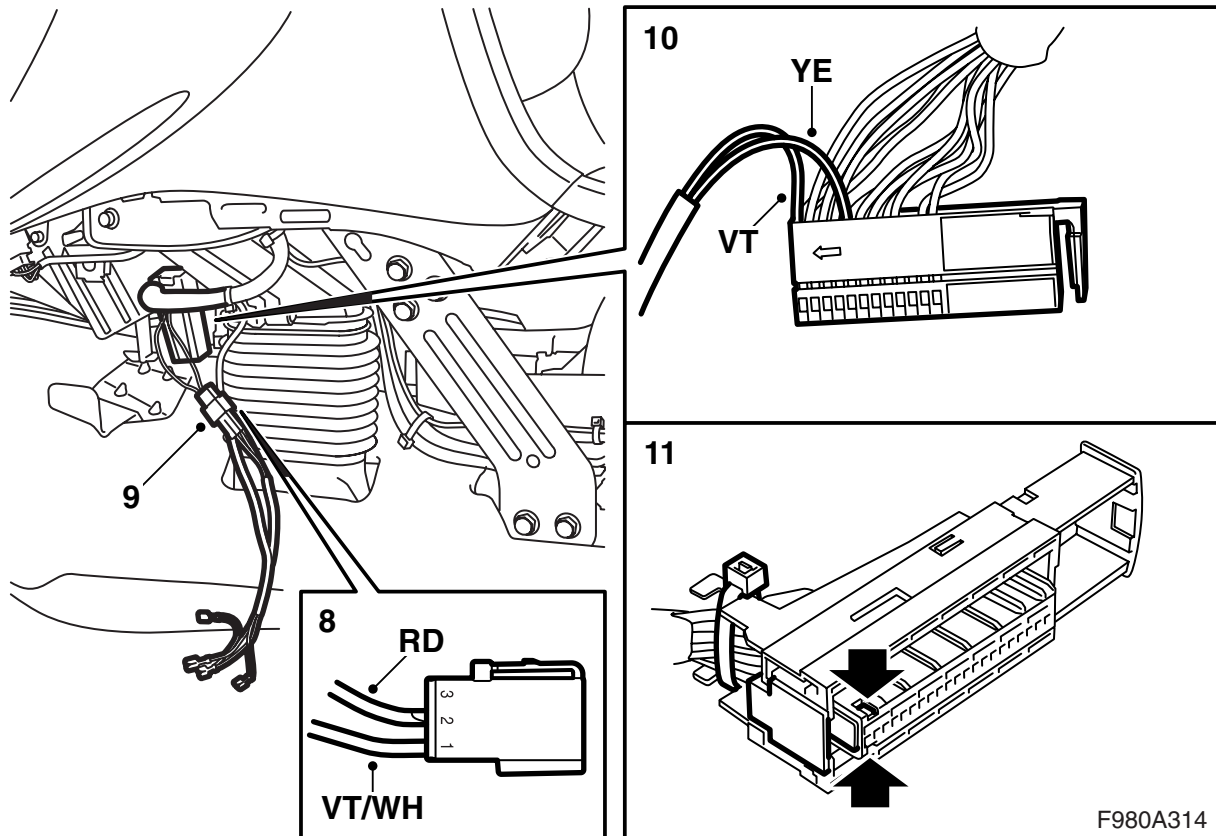
この作業を実施するには、「ワイヤーハーネス用ツールボックス」(品番号 86 12 079 または 86 12 939)に入っている特殊工具、ケーブルストリッパーとケーブルターミナルプライヤーが必要である。

- 1 フロアコンソールの前にあるサイドピース(左側)を取り外す。
- 2 パネルの左下側部分を取り外す。
- 3 空調ハウジングからコネクタを取り外す。
- 4 ケーブルをコネクタに固定しているケーブルタイを切断し、2 個のキャッチを押しどけてカバーからコネクタを取り外し、このコネクタを引き出す。
- 5 コネクタの 1 と 5 の位置からケーブルを外し、ケーブルターミナルを切断する。
- 6 コネクタの端から 180 ~ 200 mm の位置でテープを開き、そこにある 2 本のケーブルを引き出す。

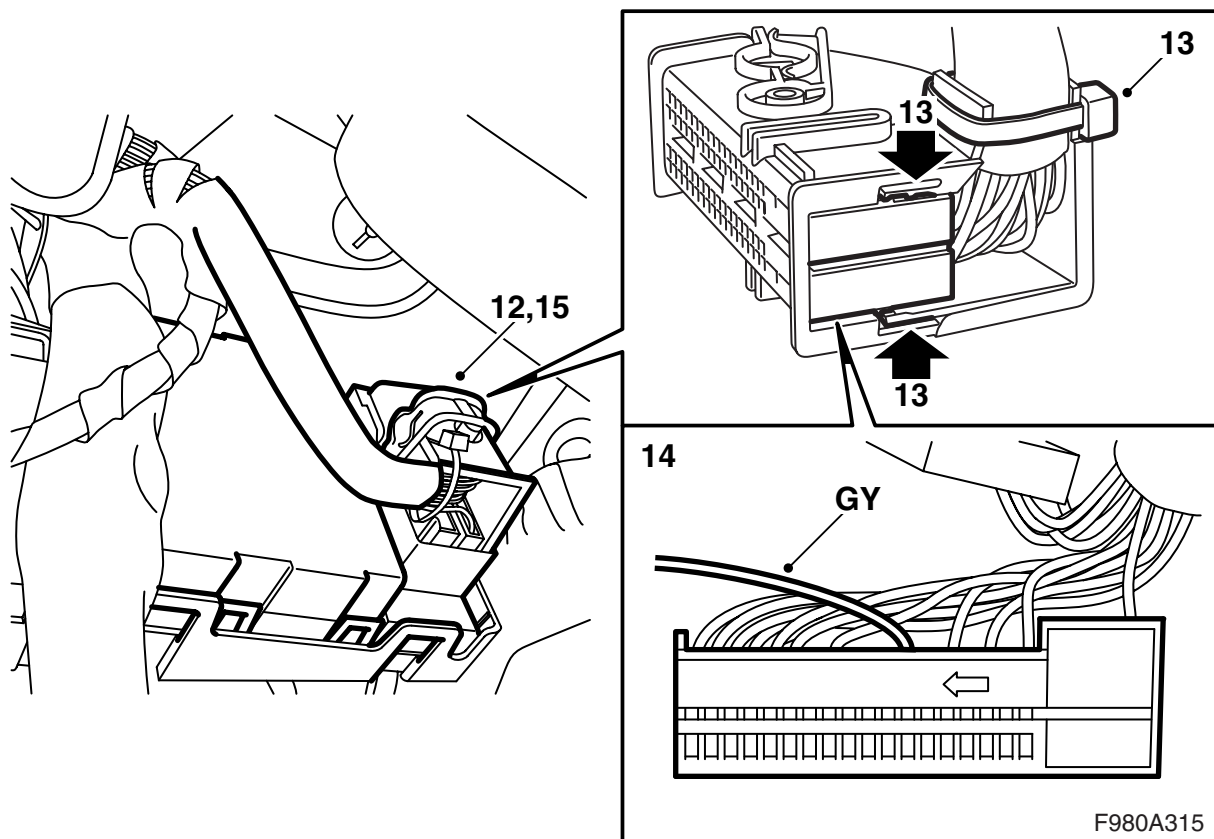
⚠ 警告

短絡して火災の原因となるので、ケーブルを損傷しないように十分注意すること。

- 7 ケーブルストリッパーを使用して、両方のケーブルの端の被覆をはがし、ケーブルターミナルプライヤーを使用して、キット内容のケーブルターミナルを取り付ける。

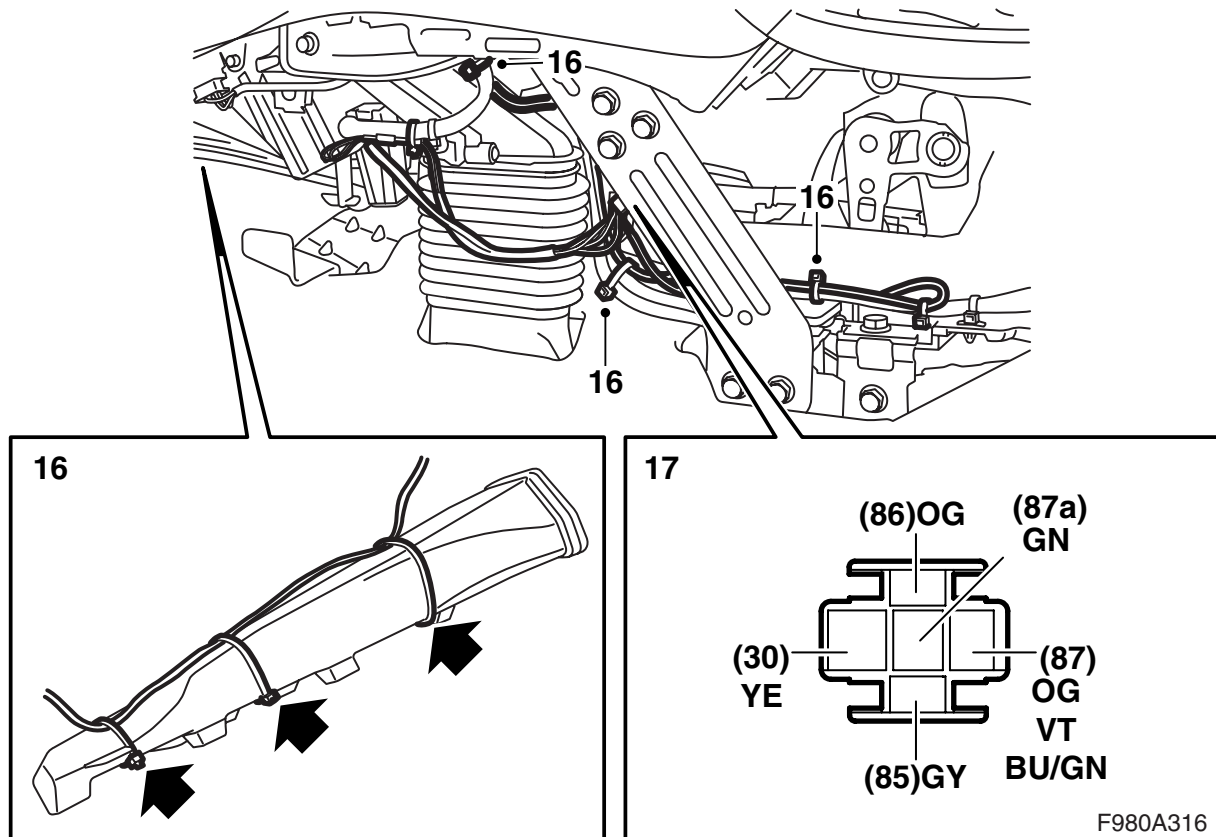


- 8 紫 / 白 (VT/WH) のケーブルを、キット内容の3極コネクタの1の位置に、赤 (RD) ケーブルをコネクタの2の位置に、それぞれ取り付ける。
- 9 コネクタを、キット内容のワイヤーハーネスの対応するコネクタに接続する。
- 10 キット内容のワイヤーハーネスの紫 (VT) のケーブルを、空調ハウジングのコネクタの1の位置に、黄色 (YE) のケーブルをコネクタの5の位置に取り付ける。
- 11 コネクタをカバーに取り付け、空調ハウジングのコネクタを接続する。



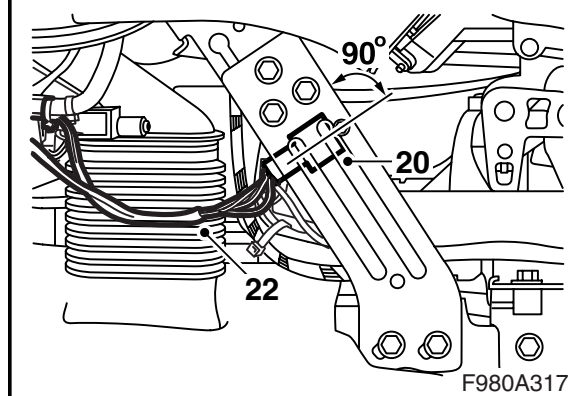
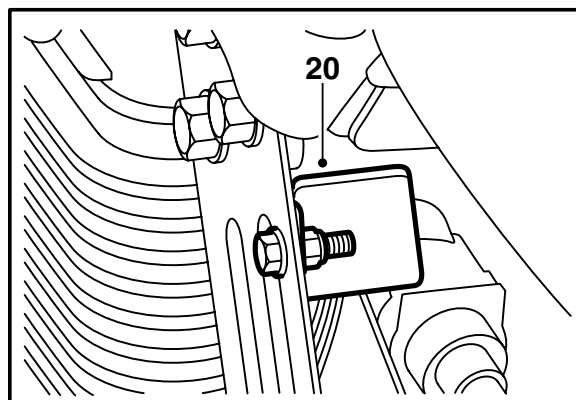
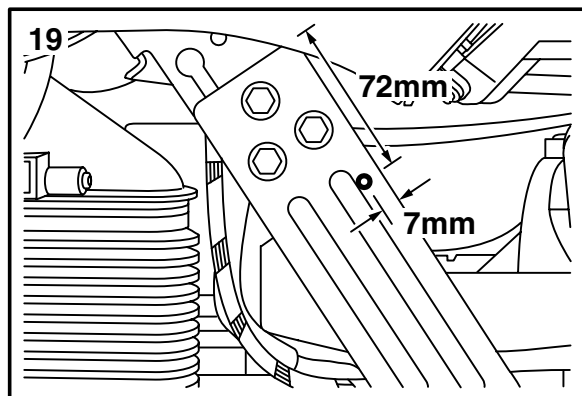
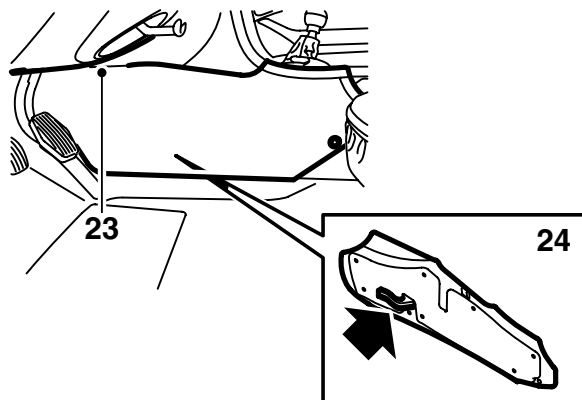
- 12 BCM 制御モジュールからコネクタを外す。
- 13 ワイヤーハーネスをコネクタに固定しているケーブルタイを切断し、2 個のキャッチを押しどけてカバーからコネクタを取り外し、このコネクタを引き抜く。
- 14 キットのグレー (GY) のケーブルの一方の端を、制御モジュールの茶色コネクタの51の位置に取り付ける。
- 15 コネクタをカバーに取り付け、新品のケーブルタイをワイヤーハーネス周囲に巻き、コネクタを接続する。

F980A315



- 16 キットのグレー(GY)のケーブルを通気チャンネル上側に沿って、インストルメントパネルの左サポートレッグまで配線する。このケーブルをケーブルタイで固定する。
- 17 これらのケーブルターミナルを、以下のようにリレーソケットに取り付ける。

ピン	色
85	GY (グレー)
30	YE (黄)
87a	GN (緑)
87	OG (オレンジ)、VT (紫) 及び BU/GN (青 / 緑)
86	OG (オレンジ)



18 リレーをリレーソケットに取り付ける。

19 (寸法に従って) インストルメントパネルのサポートレッグにドリルで直径 6 mm の穴を開ける。

27 日付と時刻を調整する。

28 サイドウインドーを2回上下させることで、パワーウインドーの挟み込み防止機能を作動させる。作動が完了すると音による合図が出る。

⚠ 警告

短絡して火災の原因となるので、ケーブルを損傷しないようにサポートレッグの後方の部分を保護する。

20 リレーをサポートレッグの内側に取り付ける。リレーがサポートレッグの端に対して 90° の角度になるように取り付けること。

21 機能を確認する。

22 ケーブルハーネスを固定して、がたついたり、きしむような異音を発生することがないようにする。

⚠ 警告

ワイヤーハーネスが挟まれていないことを確認する。誤った取り付けを行うとワイヤーハーネスを損ない、短絡/火災の原因となる場合がある。

23 パネルの下側部分を取り付ける。

24 サイドピースを取り付ける。

25 バッテリーのマイナスケーブルを接続する。

26 キーをイグニッションスイッチに差し込むことで、リモコンのコードを同期化する。

重要事項

これは全てのリモコンに実施すること。さもないとこれらのリモコンは機能しない。